

野外の博物館 生態園へようこそ

生態園は、千葉県立中央博物館の野外展示施設です。畜産試験場の跡地（およそ6.6ha）に木や草を植えて、1989年にオープンしました。房総の代表的な森林や草を再現し、もたらした動物や、新たに住みつけた動物たちも安心して暮らせるように管理しています。

中央博物館では、本館展示室と野外の生態園とで房総の自然を紹介しています。本館では標本やジオラマ等を、生態園では日々移り変わる生きたままの姿を見ることができます。写真や標本では感じるることのできない手触りやにおい、音など五感で自然を感じてみてください。

房総の代表的な森林や草を再現

房総の北部には台地や低地、南部には山地や丘陵が分布し、昔から人の暮らしや土地利用が違います。そして、気候は南へ行くほど温暖です。このため、北部では人とのかかわりが深い雑木林や草地、南部では温暖な気候に適した照葉樹林がよく見られます。生態園ではこれらの森林や草を再現するため、木や草を植えるだけでなく、南部の丘陵から土ごと森を移植したところもあります。

舟田池

舟田池は、江戸時代からあるため池です。しかし、田んぼでの水利用がなくなって管理されなくなり、ヘドロが底にたまって水も汚れてしまいました。そこで、生態園を造る時に、水を抜いて底の土も入れかえて、新しい池として再生させました。魚などを放したことはありませんが、いつの間にか色々な動物が住みつき、今では野鳥や魚、トンボ等の楽園になっています。

生態園と植物園のちがいは？

植物園は植物を見せるところなので、展示している植物を最優先で守ります。一方、生態園では、葉っぱが虫に食べられても、その虫が鳥やクモに食べられても、ほとんどそのままにしています。植物も動物も、大切な生態系の一員だと考えているからです。地面に落ちている枝や葉、動物のフンは昆虫やキノコの食べ物なので、来園者の邪魔にならない限り片付けません。農薬も肥料も使いません。ひどくはびこった外来種を除去することはありますが、その作業も生態系に配慮して行っています。

オリエンテーションハウス

生態園のビジターセンター。園内の自然や生き物を紹介しています。色々な話題を提供する「生態園トピックス展」も、年に数回開催しています。

野鳥観察舎

舟田池にやってくる野鳥や水辺の生き物を、望遠鏡でじっくり観察できます。季節ごとに生き物の種類や行動が変わり、1年中楽しめます。

カイツブリ

カワセミ

シロウジ目ウトシボ

岩石観察地

「千葉は石なし県」とよく言われますが、銚子や南部の丘陵では岩石が見られます。生態園では、房総の色々な岩石を自由に触って観察することができます。

古銅輝石安山岩 (中新世、銚子市産)

- お願いと注意**
- 園内の動植物はすべて大切な「生きた標本」です。採集はしないでください。
 - お勤めの自然観察スタイルは長袖・長ズボン・運動靴です。
 - 柵の中には入らないでください。
 - 大きな声や音を出さないようにしましょう。
 - 園内での食事・飲酒・喫煙は禁止です。
 - ペットを連れてきたり、その他の生き物を園内に放したりしないでください（介助犬等はご入園いただけます）。
 - 自転車・スケートボードなどの乗り入れはできません。
 - ベビーカーはオリエンテーションハウスでお預かりします。
 - ごみの持ち帰りにご協力ください。



千葉県立中央博物館
NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

〒260-8682
千葉県千葉市中央区青葉町 955-2
TEL : 043-265-3111

生態園
ECOLOGY PARK

開園時間※ 9:00 ~ 16:30 (入園は 16:15 まで)
休園日 月曜 (祝日の場合、翌平日)・年末年始
入園料 無料 (本館は別途入場料が必要です)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開園時間を変更することがあります。